



学校だより 9月 第370号

令和3年9月1日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

「オリ・パラとこれからの学校教育」

学校長

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、無観客での東京五輪が終了しました。

史上初めて1年延期された東京五輪そのものは、多くの議論と困難に見舞われましたが、テレビで活躍する多くのアスリートからは「努力を積み重ねる事の大切さ」「感謝の気持ち」「ピンチの時こそ前向きに」「仲間やライバルとの絆」等々、様々な名言と共にその姿が、多くのことを教えてくれました。

そして、今、開催中のパラリンピックは「困難を越えてあきらめず限界に挑戦し続ける事の大切さ」を私たちに教えてくれます。

「失われた機能を数えるのではなく、残された機能を最大限に活かそう」というパラリンピック精神を受け継ぎ、それぞれのスポーツにおいて限界に挑戦していくパラアスリートの姿に接すると、障がいがあることが不可能を意味するものではないということに気付かされ、私たちに驚きや感動と共に元気や勇気を与えてくれるのです。

新型コロナウイルス感染症への対応の中で、学校現場は、今年度の計画の様々な見直しを日々求められています。

計画していたものを「できること」「できないこと」「時期や形を変えてやるべきこと」「新たな対応」等に分けて実行していく毎日が続くこと、結果として多くの行事が削られていくことを考えると本当に残念でなりません。

しかし、できないことばかりに目を向けるのではなく、私たち大人も教育の本質を考え、子どもの学びを止めないために「何を、どのように実行していくのか」という新たな気持ちを共有していく事が、今こそ大切なのだと思います。「教室に入らないと成立しない学び」から「適材適所で分散された個別最適な学び」への転換が、再び求められているのですから……。



「誰にとっても居心地の良い学校づくり～ネット社会でも気持ちよく過ごすために～」 児童支援専任

夏休み直前の7月15日に六つ川中学校にて「横浜子ども会議」六つ川中ブロック交流会がありました。本校からは2名の児童が参加し、上記のテーマで話し合いを行いました。

学校代表として、テーマに向けて自分たちができる心がけや行動を交流してきました。スマホ等の扱いについて、「自分の発信に責任をもつ」「親の許可をもらう」など、自分たちができることを参加児童生徒11名で意見交換できました。

保護者の皆様におかれましては、日頃よりお子様のスマホやゲーム端末の取り扱いにつきまして、管理と指導を頂きありがとうございます。学校では、朝会での全校指導に加え、高学年を中心に防犯教室や啓発冊子を使用して、適切な使い方について指導を繰り返し行っています。今後ともご家庭と手を取り合って指導を進めていきたいと考えています。

多くのSNSサービスでは13歳未満のアカウントの取得は禁止されています。一般的にサービスを使用する際には、保護者のアカウントで、保護者の管理のもと使用することとなっています。お子様のSNSでのやり取り、使用時間、使用方法等を日常的に管理することで、健康被害や様々なトラブルの被害者、加害者にならないよう引き続き監督をお願いします。

